

地域活動専門員日誌

遠野遺産「氷口御祝」の
伝承をサポート



富松浩昭さん



練習に励む生徒たち

遠野遺産の「氷口御祝」は、小友中学校の生徒が取り組んできた伝承芸能です。この春から西中となりましたが、小友地区の中学生が、御祝の継承に取り組むこととなりました。

校外活動として私が連絡調整などをし、指導者の菊池榮一さん、菊池キヨさんに快く引き受けていただき、夏休み中の4日間練習しました。正座に苦勞しながらも練習に取り組む姿が何とも頼もしいです。10月の文化祭前の放課後練習も予定しており、初の西中文化祭での発表が楽しみです。

1_ 遠野少年少女合唱隊もオーケストラと共演しました 2_ 小原さんと島田さんの美しいセッションに聴衆はうっとり 3_ ものまねと音楽パロディーで会場を沸かせた清水さん



豪華メンバーが音の共演
「おしゃべり音楽館」開催

ものまねタレントの清水ミチコさんが司会を務める演奏会「おしゃべり音楽館」は8月4日、市民センター大ホールで開催されました。訪れた670人は、豪華メンバーによる美しい音色に聴き入りました。

清水さんが軽快なトークで会場を沸かせる中、音楽家の藤野浩一さんが指揮するプロのオーケストラが「風とともに去りぬ」などの名曲を披露。このほか、NHK-FM「弾き語りフォーユー」でお馴染みの小原孝さんや歌手の島田歌穂さんらによるセッションなども行われ、観客は多彩な舞台を楽しみました。

クリック！

20年間、ありがとう！



1_ディズニーのキャラクターが勢ぞろい 2_こちらは「あまちゃん」の衣装で踊る園児たち。かわいい！ 3_法政大学のボランティアの皆さん。市外からもたくさん参加しました

復興に向け熱いシュート

三浦さんがサッカー教室

被災地の児童たちとサッカーを通じ復興を支援する「絆・サッカー教室」(とあのスポーツクラブ主催)は7月28日、市運動公園で開催されました。ヴァレンテ遠野スポーツ少年団のほか、沿岸や内陸のクラブチームなど9団体200人の児童が参加し、交流を深めました。

教室は、J1コンサドーレ札幌などで監督を務めた三浦俊也さんを講師に、基礎練習やミニゲームなどを実施。菅田裕斗君は「他のチームの選手と協力してゴールを決めることができました。新しい仲間とも仲良くなれて良かったです」と交流を楽しんでいました。



三浦さん(左)の指導のもとサッカーを楽しむ参加者

震災を忘れない！

風の丘などに
震災伝承コーナー設置

国土交通省東北地方整備局は、東日本大震災による津波被害を後世に伝えるため、道の駅「遠野風の丘」などに震災伝承コーナーを設置しています。お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

■展示内容 パネル、津波被災モノUMENT、被災前後の衛星写真など

■市内設置場所 道の駅「遠野風の丘」無料休憩所、市総合防災センター2階展示コーナー



道の駅「遠野風の丘」



市総合防災センター



納涼！ 名水に親しむ一日
鍾乳洞「稲荷穴」で祭り開催

「稲荷穴まつり」(達曽部地域づくり連絡協議会主催)は8月4日、宮守町達曽部の鍾乳洞「稲荷穴」周辺で開催されました。訪れた280人は、多彩なイベントを楽しみました。

ステージでは、同所名産のワサビを添えた手打ちそばの早食い大会やスイカ割り大会のほか、郷土芸能共演会なども開催。また、岩手の名水20選でもある同所の湧水を使った流しそうめんやニジマス釣り体験なども行われました。佐々木大雅君(6歳)=宮守町達曽部=は「水が冷たくて流しそうめんがおいしかった。いろいろなイベントがあって面白いです」と声を弾ませていました。

ワサビが効いてる〜！



1_湧水を使って打ったそばの早食い大会。味わいたけれど味わえず… 2_ヒンヤリ冷たい流しそうめんに夢中 3_風船を割るとスイカがもらえる新スイカ割り大会



ヤマメ釣りに挑戦する子どもたち。奥の建物が新築した茶室

ますますやかましい村に

やかまし村が開村5周年

松崎町宮代地区などの住民でつくる「やかまし村」の開村5周年を祝う祭りは7月27・28日の両日、同地区で行われ、村民らはさまざまな催しで節目の年を祝いました。

祭りは、ヤマメ釣りやピザ焼き体験などのほか、村民らが手作りした茶室で遠野緑峰高校茶華道部(11人)がお茶を振る舞うなど盛りだくさんの内容。夜にはピザ釜の前で交流会なども行われ、参加者は心行くまで祭りを楽しんでいました。菊池美千代村長は「村民が知恵と工夫を出し合っ